

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第41号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

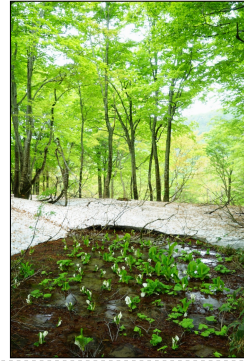
# 東風季報

発行 東北風景写真家協会 〒980-0852 仙台市宮城野区榴岡3-8-15 東北カラーデュープ株式会社内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 阿部・丸山

## 湯殿山・春のブナ林を行く！！

東北風景写真家協会 顧問 椎名 亮介

私の主宰する風景写真教室の生徒と一緒にブナ林の根開き風景を撮りに、湯殿山ブナ林に、今年も行ってきました。ロケ地に着いたとたん、大ぶりの雨も上がり絶好の撮影日和となりました。湯殿山道路の中心ほど、両側にあるブナ林は、新緑と美しい根開



會員の皆さん！来年は是非、湯殿山ブナ林の撮影行いかがでしょうか。追記／湯殿山ブナ林の新緑と根開き風景は、5月下旬がお薦めです。

## 撮影実習セミナー

田麦侯 7月4日

日本の原風景を愛し、写真に残す。田麦侯を訪れ、鶴岡の方々と共に撮影を楽しみました。東風協主催の今回のセミナーは東北フォトウォーキングクラブの協賛、たにしの楽校保存会の後援を得て実施に至りました。日本海側に大雨の予報もあるなか、仙台から田麦侯へ着くころには、雨もあがる。「たにしの楽校」(旧大綱小学校分校)にて開会式で竹内会長、楽校を管理されている南正一さんから、ふるさとの風景を未来へ残していくことの大切さを伺いました。いざ撮影へ 何度かこの地を訪れて

このロケ地に毎年行っています。道路右側の林は、起伏があり変化にとんだロケ地です。道路左側の林は、融雪跡の一部に水芭の穴場のようなものです。この後、足を伸ばし象潟の日本海暮色のほか、元滝や原生林獅子ヶ鼻湿原も周り、すばらしい撮影行のひと時を過ごしてまいりました。

### 秋の撮影旅行

【目的地】 美ヶ原・上高地 (長野県) 方面

【日程】 平成29年10月17日(火)～19日(木) 2泊3日

旅行代金：68,000円、募集人員：40名(最小催行人数30名)

【旅行企画実施】 河北新報トラベル 022(211)6960

【撮影地】 美ヶ原→上高地

・より多くの會員の皆様のご参加をお待ちしております。

### 【開会式】

桜の山里へ

見える。願わくばもつと時間があればという気持ちを残しつつ、3時半に閉会となる。今回のセミナーを機会に、たにしの楽校を中心とした活動に協力すべく、桜の植栽(目録)会長より南さんに申し込ました。會員の皆様、これから田麦侯を訪れて、周辺地域も含めて美しい自然を堪能されたいよう望みます。(秋葉健一 記)

### 太平洋写真学校開催

【第14回太平洋写真学校北上教室】 震災後関係者の努力で開催に！

【開催日】 平成29年12月2日～3日(1泊2日) 【募集人員】 50名

【費用】 参加費：5,000円、宿泊費：10,000円 【宿泊地】 追分温泉

◎当協会として協賛予定 <参照>別紙チラシをご覧ください

尚、現地集合のため仙台からチャーターバスを出す方向で検討中(バス会社見積り：25名で1名@5,000円位) <参加者募集中です>

### 川隅 功 先生

スライド&トークセミナー

毎回好評のプロ写真家による、スライド&トークセミナーを次の通り実施します。

【講演者】 川隅 功 先生

講演テーマ 車から降りてすぐ撮れる風景写真の魅力

花の風景、水の風景、樹の風景をメインテーマに日本国内の自然風景を追いかける写真家

【日時】 2017年11月16日(木曜日)

受付開始 13:00  
セミナー開始 13:30  
閉会 16:30

【会場】 日立システムホール 3F エックホール

【募集人員】 定員90名(先着順定員締切)

【会費】 会員 1,000円  
非会員 1,500円

【申込方法】 ①ハガキによる申込み 9月1日付東風季報と同送のハガキにご記入の上、来たる9月30日までご返送下さい。 <参加者募集中です> 6/1から既に電話にてご予約済の方もハガキ返信をお願いいたします。

## 第12回定期総会

平成30年度定期総会開催予定

開催日 平成30年1月28日(日)

会場 仙台市戦災復興記念館 4階研修室

総会に併せてプロ写真家によるセミナー開催予定

現在、講師候補者に打診中！ご期待下さい

詳細は次号の東風季報にてご案内致します

### 写真展のお知らせ

平成30年度の写真展開催日が決定しました

東北風景写真家協会 第6回写真展 会期 平成30年7月5日

平成30年7月11日 会場 メディアテーク

詳細は次号の東風季報にてご案内致します

### お願い

★平成29年度年会費のお支払いのお願い

協会の各種企画事業や「東風季報」の作成、発行、郵送料等は皆様の年会費にて運営しております。

年会費(3,000円)

未納の方は、左記口座宛に急お振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いいたします。

●七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 52722599

●東北風景写真家協会 ゆうちょ銀行 18190

●1438888

●トウホクフウケイ

●シャシシカキョウカイ

### 写真コンテスト 上位入選者

★写真コンテスト 上位入選者

風景写真誌7/8月号フォトコンテスト 単写真部門 最優秀作品賞

小林 一敏さん

★新規入会會員ご紹介

宮城県仙台市 高田 靖子さん

山口 美津子さん

宮城県多賀城市 及川 剛司さん

★ご連絡下さい

写真コンテスト及び公募展に入賞または入選された方、また、個人やグループで写真展を開催される方もご連絡下さい。規定に則って掲載いたします。

# 写真は我が友

門間 弘直

## 自然の息遣いを感じて

凛然とした空気、静まりかえった湖面に小魚がはねる。遠くでアカゲラがドラミングしている。

八甲田山中の原生林に囲まれた蔦沼の朝が冷気を漂わせて白々と明けてくる。

やがて朝日と囲りの山、湖、林が創りだす光と影のドラマが始まる。

凜とした空気をさいて、一斉にカシャ、カシャ・・・パシヤ、パシヤ、この情景を捉えようと全神経を指先に込めて押すシャッター音の競演である。



【一瞬の輝き（朝の蔦沼）】

我々は、言語をもって意志を伝えているが写真を媒介して情景を伝えることは大変至難

あるが、意図する写真（勉強不足）。しかし、また挑戦する。これがまた楽しいのである。喜びを伴う挑戦である。

ある時、患者さんの癒しになればとの思いから、某病院に愚作を飾ることにした。入替え作業をしていると、車椅子の患者さんから「いつも楽しみに見ています。次回はどんな写真を飾るのですか？」と言われ写真が、手元を離れ、誰かの「楽しみ」になっていることが、大きな心の励みになった。次回ももっと楽しんで見てもらえる写真を撮ろうと足を運ぶ。

そこには、また一段と心に響くものがある。草花は「美しく写してね」と微笑んでポーズをとってくれる。滝は荒々しく力強さを表現してくれる。

小さなフラインダーから不思議な世界が展開してくる。定年後の趣味として始めた写真で

あるが奥深く楽しく、心豊かになる世界だと思っている。

好きなことを夢中にやって取り組んでいる車に降りかけたところ、熊がのっそりと現れた。

熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。

例えば、船形山麓・大和町升沢で熊と出会った。道路脇の沢に入って1時間ばかりの撮影を終えて、車に戻りかけたところ、熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。

例えば、船形山麓・大和町升沢で熊と出会った。道路脇の沢に入って1時間ばかりの撮影を終えて、車に戻りかけたところ、熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。

記録に残る、写真を撮り始めて約15年。未だ満足のないものは撮れていない。しかし、その時々自分の「心の記録」を重ね、残すことができたのではないだろうか。

感動と心のときめきを求めて、これからも感動と心のときめきを求め、「二押し魂」でシャッターを切り続けたい。一日一日を大切に、元気で楽しい撮影旅行を再びしたいと思っている。

# 船形山麓・熊との遭遇

佐々木 康照

## 熊とふれよう

本年7月の末に大和町升沢で熊と出会った。道路脇の沢に入って1時間ばかりの撮影を終えて、車に戻りかけたところ、熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。

例えば、船形山麓・大和町升沢で熊と出会った。道路脇の沢に入って1時間ばかりの撮影を終えて、車に戻りかけたところ、熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。

例えば、船形山麓・大和町升沢で熊と出会った。道路脇の沢に入って1時間ばかりの撮影を終えて、車に戻りかけたところ、熊のドアを開け、いつでも入れるようにしながら、しばし熊とのにらめっことなったが、熊は私が沢から上がってきたところから下に降りて行った。少しばかりの時間差で危ないところだった。



【煙雨の森で】

森は少し怖いぐらいがちょうどいいのだ」と言う。

この地域に慣れてから、私は大抵一人で森に入らなくなったが、熊の糞や、木や土を掻きむしった跡などを見かけたときは特に注意をする。熊よけのために所持するものは、ラジオ、鈴、花火（音と煙が出るもの）、などである。ほか1年ほど前、某スポーツ店で「熊よけスプレー」なるものを1万円で購入した。アメリカ製でかなり強力なものだといふ。売り場の女性は「襲われたとき、とっさに間に合えばいいのですがねえ・・・ご無事を祈りませう」と言っていた。過日、桑沼の撮影に行ったとき、このスプレーの使用方を復習していたら操作ミスで自分に吹きかけってしまった。ほんの一瞬であったが顔にもかかり目が猛烈に痛んだ。持っていたペットボトルの水で目を洗い流し、沼に降りて行って顔、頭、首などをよく洗ったが、しばらくのあいだ車の中でじっとしているほかなかった。

少し落ち着いてから、「カメラマン魂」を発揮

最近森を歩きながら「熊棚」が減っている？

最近森を歩きながら「熊棚」が減っている？

最近森を歩きながら「熊棚」が減っている？

# こんな話、あんな話 第三十八話 「視度調整は大丈夫？」

## こんな当たり前のことを書いてすみません。

「視度調整」なんて解っていないよ。と言われるのを覚悟で、書きました。

でも、改めてもう一度、考察してみましよう。「視」とはモノを見る動作、またはモノの見える状況。次に「度」で「度」とは物事をみる時の度合い。

この「視」と「度」合わせた言葉「視度」とは見ることの又は見えることと度合い、となる。

前置きが長くなったが、ここから大切なお話です。昔から写真を趣味にしている方はすでに感じておられると思うが、カメラに付いている「視度調整」の機能を今一度確認して見たい。

「視度調整」はカメラの専門用語では有りません。思い出してください。双眼鏡を。たぶん初めて使ったとき接眼レンズの右だけどうしてググルグル回るのかな？と。これが「視度調整」なのです。人間の目は左右の視力が僅かに違います。（同じ人もいますが）しかも個人差があります。そこでその補正をするために、まず左目でピントを合わせ、続いて右目の

人間の野生動物とまぐ折れ合いをつけて「平和共存」できる道はないのだろうかと思ってしまうのだが、いかなものだろうか。

最近私は、泉根白石の朴沢集落の農村風景を撮り集めているのだが、そこでも集落の人には「イノシシが畑を荒らすので金をかけて電気柵をまわしたがるが害が無くならず困っている」と言う。

人間が野生動物とまぐ折れ合いをつけて「平和共存」できる道はないのだろうかと思ってしまうのだが、いかなものだろうか。

接眼レンズ部のリングを回してはつきり見えるところまで固定する。これで両眼で見てもはつきり見えるわけです。これを知らなかった人は、なんだか良く見えていなかったはず。両眼で見るとこの機構が付いています。両眼タイプ顕微鏡などもそうです。

ところでカメラですが、片目でフラインダーを覗くことから、関係無いと思うでしょう。カメラの「視度調整」はあんなに大切なものでは無いのです。一定の品質性能を維持して出荷しているカメラの視力は全員同じではありません。ほぼ全員違います。また近視や遠視の眼鏡を掛けている方は、外して裸眼で見たほうがフラインダー視野が広がります。そんな時にも「視度調整」を使います。

カメラのフラインダーに「視度調整」が付いていないと、被写体もフラインダーの表示数値や文字も滲んで見え、役に立ちません。現在のカメラはAF（オートフォーカス）だからはつきり見えなくてもいいや！と思っ

ている方は、騙されたと思って、もう一度取説をみてください。「視度調整」してみてください。撮影感

## 編集後記

1面は椎名亮介顧問のご投稿と撮影実習セミナーの記事・川隅功先生のセミナー予定記事等を掲載しました。

2面記事は門間弘直さん・佐々木康照さんに執筆をお願いしまして、快くお引き受けいただきました。丸山副会長は連載です。

また、門間さんは入院中で病床からご寄稿頂きました。早期の全快をお祈りいたします。ご寄稿有り難うございました。

この季報は皆様のご投稿で作られています。皆様のご投稿をお待ちしております。

丸山慎一